

平成 20、21 年度
中期目標の達成状況報告書

平成 22 年 6 月
東京海洋大学

目 次

I. 中期目標の達成状況

- 1 教育に関する目標の達成状況 1
- 2 研究に関する目標の達成状況 6
- 3 社会との連携、国際交流等に関する目標の達成状況 8

II. 「改善を要する点」についての改善状況 9

I. 中期目標の達成状況

1 教育に関する目標（大項目）

中項目	1 教育の成果に関する目標		
小項目番号	小項目 1	小項目	【学士課程】（海洋科学部） 海洋、湖沼、河川に生息する多種多様な生物と人間との共存、地球環境、食糧等の問題に関心を持ち、これらの諸課題を追求し、解決するための行動力を持つ人材として養成する。
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			海洋環境の保全・修復、食料の安定的確保と海洋生物資源の合理的な開発・管理、海洋食資源（食品）の安全性確保と開発・利用に関わる諸問題の理解と解決に必要な学力・技術などを修得させるための計画、経済的視点と共に人間文化的視点にも立脚した共生的な海洋利用・管理のあり方に関わる諸問題について、政策提言と実践を行うことのできる学力・技術などを修得させるための計画について、平成 19 年度までの取組等を引き続き継続して実施している。
小項目番号	小項目 2	小項目	【学士課程】（海洋工学部） 海、船、物流等の問題に関心を持ち、これらの諸問題の理解と解決に必要な高度な技術を身に付け、国際的にも活躍できる人材として養成する。
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			船舶の運航・海事・情報通信、船舶機関・機械システム・電子制御、流通・物流・情報システム・流通経営システム等に関する諸問題の理解と解決に必要な学力・技術などを修得させるための計画について、平成 19 年度までの取組等を引き続き継続して実施している。
小項目番号	小項目 3	小項目	【乗船実習科・水産専攻科】 海洋に関する幅広い知識のほか、船舶の運航に関する高度な知識と技術を持った海上技術者を養成する。
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			船舶の運航に必要な高度な知識と技術などを修得させるための計画について、平成 19 年度までの取組等を引き続き継続して実施している。

小項目番号	小項目 4	小項目	【大学院海洋科学技術研究科】 地球規模での海洋に係わる諸問題の解決と海洋自体の持つ可能性を追求し、博士前期課程では専門基礎教育に立脚した高度専門職業人を養成し、博士後期課程では先端領域を切り拓く自立した高度専門職業人や研究者を養成する。
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			海洋に係わる諸問題の解決と海洋の可能性を追求するための学理と技術を修得させ、その応用展開ができるようにするための計画、海洋に係わる諸問題の解決と海洋の可能性を追求するための先端的な学理や技術の習得とともに、自立した研究者等として開発研究に携わるために必要な資質・能力を涵養するための計画について、平成 19 年度までの取組等を引き続き継続して実施している。

中項目	2 教育内容等に関する目標		
-----	---------------	--	--

小項目番号	小項目 1	小項目	【学士課程】教育課程は、平成 15 年 10 月の統合再編時において明確にしたアドミッションポリシー（入学者受入方針）のもと、大学が求める学生を受け入れ、学部における教育目標の実現に向けて、必要な教育内容等を用意する。
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			①大学が求める学生として、学部・学科の目的にふさわしい学生を受け入れるための効果的な入学者選抜方法の実施、留学生を含めた入学志願者の増加のための広報活動、教育研究内容の周知のためのオープンキャンパス実施等の計画、②学生に対し、高い職業意識、自主性・創造性の育成などに効果的な就業体験（インターンシップ）を教育内容とする授業を行う計画、③多様な学生を受け入れ、学生が切磋琢磨できる環境を整備するための計画、④入学者選抜の改善を継続的に行う計画について、平成 19 年度までのそれぞれの取組等について、引き続き継続して実施している。

小項目番号	小項目 2	小項目	【学士課程】教育方法の改善・充実等のため、自己点検・評価や学生による授業評価の実施のほか、実践的な外国語教育、対話・討論型授業の積極的な展開などに取り組む。
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			①本学の教育理念・教育目標の実現に向けて、適切な教育課程を編成するよう努めるための計画、②専門技術者としての実践力を高めるための実験・実習の充実、他学部・他学科等の科目の一定数を卒業要件単位として認める等、柔軟で幅広い教育内容とするための計画、③学生参加型の授業の充実、チームティーチングの導入、ティーチングアシスタントの配置など学習指導の向上に努めるための計画、④授業形態、学習指導法の改善・充実に資するためのアンケート調査等を行うための計画、⑤学生の学習支援のため、オフィスアワーの整備等を通じた、個別指導の充実を図るための計画について、平成 19 年度までのそれぞれの取組等を引き続き継続して実施している。

小項目番号	小項目 3	小項目	【学士課程】責任ある授業運営と厳格な成績評価のため、成績評価基準等を策定し、進級条件を設定することなどを検討する。
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			卒業生の質の確保を図るため、授業の事前学習等の指示の徹底、教員の教育責任の徹底による責任ある授業運営や成績評価基準の明示、厳格な成績評価と進級条件の設定、学生の履修科目登録単位数の上限設定等を実施する計画、優秀な学生に対し、顕彰制度を設けて表彰するなどして、学習意欲等を喚起する計画について、平成 19 年度までの取組等を引き続き継続して実施している。

小項目番号	小項目 4	小項目	【大学院課程】アドミッションポリシー（入学者受入方針）を明確に打ち出し、大学が求める学生を受け入れ、海洋科学技術研究科の教育研究目標の実現に向けて、必要で高度な教育研究内容等を用意する。
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			海洋科学技術研究科の各専攻の目的にふさわしい学生を受け入れるため、受験生の能力適性等を多面的に判定する観点から効果的な入学者選抜方法の実施、留学生を含めた入学志願者の増加を図るため、教育研究内容等の情報を国内外に積極的に公表するなど広報活動を一層充実させるための計画について、平成 19 年度までの取組等を引き続き継続して実施している。

小項目番号	小項目 5	小項目	【大学院課程】時代や社会に機動的に対応でき、地球規模での海洋に関わる諸問題の解決に創造的に立ち向かい、かつ、海洋とその関連産業分野における先端領域を切り拓く意欲と能力の涵養が図れるよう、高度で多様な教育研究内容とする。
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			①海洋科学技術研究科の教育研究目標の実現に向けて、企業等が求める人材・資質等社会的ニーズ等を把握するための組織等を整備するための計画、②博士前期課程では、課題探求能力の育成を重視し、また、実践的技術力の向上のため、特別演習・特別研究を充実させる。博士後期課程では、創造的開発能力を培うため、学問領域の先端的内容を教育研究内容とするほか、演習、特別実験を充実させるための計画、③連携大学院方式により、一層の教育研究内容の充実を図り、他大学院の科目履修や、大学間交流協定校等との単位互換を推進するための計画について、平成 19 年度までのそれぞれの取組等を引き続き継続して実施している。

小項目番号	小項目 6	小項目	【大学院課程】社会的ニーズを踏まえた分野・内容の魅力ある教育研究の展開と社会人の再教育需要に応える履修形態等を工夫する。
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			①研究者として早期から専門教育を実施するとともに、社会人の再教育を積極的に推進するため、厳格な成績評価を実施し、優れた業績を上げた者については在学期間を短縮し、修了させる制度、②国家資格をはじめとする様々な資格制度に対応した専攻横断的なコースワーク制等の導入、③授業形態、教育研究指導法の改善・充実のためのアンケート調査の実施、④院生同士の相互研究・相互学習を促進するとともに相互評価によって教育研究成果の質的向上を図るための合同セミナーや修士論文・博士論文発表会の実施、④留学生が学びやすい環境を整備するため、英語あるいは英語と日本語を併用した授業の推進、日本語補講を実施およびチューターの配置、⑤社会人等が大学院教育の機会を受け易くするための昼夜開講制等の導入、⑥優秀な学生への顕彰制度による表彰の計画について、平成 19 年度までのそれぞれの取組等を引き続き継続して実施している。

中項目	3 教育の実施体制等に関する目標	
-----	------------------	--

小項目番号	小項目 1	小項目	教育の質的向上が図られるよう、適切な教職員の配置、教育に必要な設備、図書館、情報ネットワーク等の活用、整備等に努める。
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			<p>①社会的ニーズ、研究シーズ等を適切に反映した教職員組織体制の整備充実のための計画、②教育支援者の業務を明確にし適切に配置するための計画、③教育・実験実習設備の高度化・現代化に向けた整備に努めるための計画、④図書館利用者へのサービス充実、IT・ネットワーク環境等の充実のための計画、⑤練習船・実験実習施設の有効利用等を促進するための方策の検討および設備整備のための計画、⑥評価（検証）、改善、実施のシステムを構築し、取り組むための全学的組織の整備、また、学生の意見等を直接聴取・反映するため、学長等との懇談会等の実施、⑦FDを積極的に支援するための全学的組織の整備、⑧IT 遠隔授業等の活用による国際的な活動展開を目指した教育の実施を検討するための計画、⑨JABEE、船舶職員養成などの資格、免許に関わる教育実施体制の充実のための計画について、平成 19 年度までのそれぞれの取組等を引き続き継続して実施している。</p>

中項目	4 学生への支援に関する目標	
-----	----------------	--

小項目番号	小項目 1	小項目	留学生を含めた学生に対し、学習・課外活動・学生生活・卒業後の進路（進学・就職等）等のすべての段階で支援策を講じるとともにその促進のための全学的体制を整備する。
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			<p>①学生の修学、大学生活全般、進路等に関する助言・指導を行う学生支援教員制度、②留学生に対しての日本語教育や日本の社会事情教育等の充実、日本人学生のチューターの適切な配置、および学習相談等窓口業務の英語対応体制の整備、③学生生活の悩み等に対する専門カウンセラーの配置、学生の健康に関するデータの電算化、保健管理センターにおける一元的な健康管理を促進するための計画、④進学、就職など学生の進路指導支援に関わる全学的な体制の整備、就職データ電算化、就職相談室の確保、就職ガイドブック作成、就職ガイダンス及び企業に対する PR、合同企業説明会の一体的実施等の計画、⑤留学生の受け入れから帰国まで一貫してきめ細かく支援するための体制の整備を検討するための計画について、平成 19 年度までのそれぞれの取組等を引き続き継続して実施している。</p>

2 研究に関する目標（大項目）

中項目	1 研究水準及び研究の成果等に関する目標		
小項目番号	小項目 1	小項目	平成 15 年 10 月の統合再編時の「人類の共有財産である〈海〉をグローバルな視点でとらえ、環境保全を図り、自然との共生のもと海洋の活用を考究する」という考えを基本に、海洋科学・海洋工学の基礎から応用に至るまでのトップレベルの研究を展開する。このため、旧東京商船大学と旧東京水産大学がこれまで育ててきた研究資源の融合により、学際的・先端的研究分野を創出するとともに、両大学の伝統と個性・特徴を生かした研究の深化を図り、関連研究分野の発展と新たな産業の創出等に寄与するなど海洋に関わる総合的研究拠点を目指す。
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			①社会的ニーズと研究シーズを踏まえ、両大学がこれまで育ててきた研究資源の融合により、海洋資源の確保ならびに安全かつ高度な利用、海上輸送技術の高度化、環境保全（修復を含む）、海洋政策等の学際的・先端的分野の諸課題にプロジェクト型研究を中心として重点的に取り組むための計画、②産学官の連携による、産業への技術移転、新産業の創出等の推進のほか、水産、食品、環境、ロジスティクス、海運関連産業界や地域振興への関与等を積極的に行うための計画、③研究内容・成果を学内外へ積極的に公表するほか、技術相談・技術研修会等を実施するための計画、④研究評価方法に関する検討、その結果を踏まえ、中期目標期間中に全学的な研究評価の実施、⑤発明評価委員会による研究成果を検証、発明の特許化、知的財産の取得等を推進するための計画について、平成 19 年度までのそれぞれの取組等を引き続き継続して実施している。

中項目	2 研究実施体制等の整備に関する目標	
-----	--------------------	--

小項目番号	小項目 1	小項目	
			平成 15 年 10 月の統合再編時における大学院各専攻の研究実施体制の整備に努めるとともに、学際的・先端的な研究課題の重点的推進、研究活動の活性化を図るため、研究環境、財政支援システムの整備や研究活動の点検評価システムを構築する。
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			①研究活動の活性化のため、重点的課題の選定、研究ニーズとシーズの情報収集、研究評価結果を質の向上につなげるシステムの検討のほか、組織の見直し、施設・設備の整備・活用のための計画、②一大研究科として組織再編した大学院を基本とし、必要に応じての組織の見直し、研究支援者を重点的に配置するための計画、③研究経費のうち一定割合を競争的研究資金としてプールし、学内公募方式により、重点的研究課題、優れた若手研究者優遇、基礎研究へ配分し、資金の獲得者に研究成果発表会での発表の義務化、④各省庁研究助成費、民間助成財団等の公募・獲得状況等を学内に公開し、外部資金獲得に努めるための計画、⑤施設等の充実整備・活用、実験設備等の高度化・現代化を図るための計画、⑥共用スペースとしての研究施設の拡充、研究スペースを優先的に提供するための計画について、平成 19 年度までのそれぞれの取組等を引き続き継続して実施している。

小項目番号	小項目 2	小項目	
			知的財産本部を整備し、知的財産の創出・取得・管理・活用を戦略的に行うとともに、外部資金・競争的資金の一層の獲得を図るための組織等を充実整備する。
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
全中期計画			①特許等の知的財産の創出、取得、管理及び活用のための体制を整備、②産学連携、技術移転、技術開発、人材育成等産業界との連携・協力を推進するため、大学の研究活動の広報と併せて、産業界における研究・技術開発需要、民間企業からの技術相談等の対応や情報収集を一元化し、民間企業との共同研究の推進を支援する方策を検討するための計画、③教職員が安心して産学連携に取り組めるよう、利益相反・責務相反に係る課題について、事例集・対応方針の作成、個別事例に応じた対応策を検討する組織の整備、④水産総合研究センター、海洋研究開発機構及び海上技術安全研究所との連携方式による大学院や寄附講座の充実、関連大学、独立行政法人、地方自治体、民間の研究機関等の研究者のプロジェクト研究への参画等を推進し、産学官共同による研究実施体制の充実を図るための計画について、平成 19 年度までのそれぞれの取組等を引き続き継続して実施している。

3 社会との連携、国際交流等に関する目標（大項目）

中項目		1 社会との連携、国際交流等に関する目標	
小項目番号	小項目 1	小項目	海洋に係る専門大学として、地域社会・企業等との連携・協力はもとより、留学生交流その他諸外国の大学等との教育・研究交流を積極的に行う。また、教育研究活動を通じた国際貢献を推進する。
計画番号	中期計画		平成 20 年度及び 21 年度における実施状況
下記以外の 中期計画			<p>①地域社会・企業等との連携・協力、社会サービスを推進するため、「社会貢献委員会」を中心に、公開講座、講演会、講習等を企画・実施し、これまで各研究者が個別に行ってきた各種の地域振興活動を支援するための計画、②留学生・研究者等の受け入れ、共同研究、技術支援等国際交流を促進するため、「国際交流等推進委員会」により、すでに交流協定を締結している大学・研究機関を中心に、研究者や学生の交流や共同研究、シンポジウムの共同開催等の推進、さらに、新たな開発途上国との国際交流の先駆けとなることを目指し、これらの国の大学や研究機関との交流協定締結を促進する方策を検討するための計画、③国際会議・集会への教員・学生の派遣や外国からの教員等の招へいの機会の増加を図るための方策、④海洋に係わる国際共同研究に研究者が参画し、研究推進に貢献するための計画について、平成 19 年度までの取組等を引き続き継続して実施している。</p>
計画 1 - 4			<p>国際シンポジウム・国際セミナーの定期開催や特別開催を企画するとともに JSPS や JICA 等の国際プロジェクトへの教員派遣を推進する。</p> <p>本学とトルコ 3 大学との平成 21 年度国際大学交流セミナーシンポジウムを、(独)日本学生支援機構の支援を得て開催し、教員 3 名、学生 15 名を招待し、教員・学生・学外者合わせて約 300 人の参加があった。マグロ養殖の持続的生産性と食品の安全性の担保をテーマとし、教員の講義や学生の発表が行われたほか、館山ステーション（館山市）、築地市場、東京都市場衛生検査所や中央魚類（株）の協力を得て、見学と技術研修等の幅広いプログラムを実施した。さらに、地域住民との交流会、1泊2日のホームステイを行ったほか、学生主体の様々な企画が立案、実行された（別添資料 1）。本成果として、平成 22 年度にイスタンブール大学との交換留学（受入、派遣：各 1 名、1 年間）を行うこととした。</p> <p>JSPS 拠点大学交流事業（タイ）、JICA 草の根技術協力事業（インドネシア）を引き続き実施するとともに、JICA からの要請による専門家派遣事業へ教員を派遣した。</p>

Ⅱ. 「改善を要する点」についての改善状況

改善を要する点	改 善 状 況
該当なし	